

令和元年度(2019年度)小田原市市民活動応援補助金交付事業一覧

<スタートアップコース>(事業費の100% 上限10万円)

No.	事業名	団体名	概要	交付額
1	白糸川上流の溪流・滝群周辺等の整備事業	ねぶ川、里山を守る会	根府川の自然・歴史・文化を維持継承し、市内外問わず多くの方が地区内を周遊し楽しめる環境をつくり、市民の健康増進及び観光の振興を図るために、以下の4事業を継続的にを行います。 ①白糸川上流の溪流・滝群への経路の整備、②関東大震災時に山体崩壊を起こした大洞(オオボウ)付近の経路の整備、③根府川の桜群生地を維持(桜守)する活動、④根府川城址を保全する活動の準備	100,000円
2	小田原の地の利を生かした子育て支援事業	タンポポキッズ	音楽会や調理実習、農体験や職業体験、思考力を育てるパズルや知育教育、様々な季節の行事を通して、子供への健全育成、考える力を育て自立した子どもへの成長の手助け、そして親子の孤立を防ぎ、ツナガリを作るというコンセプトの下様々な企画を行います。	100,000円

<ステップアップコース プランA>(事業費の70% 上限20万円)

No.	事業名	団体名	概要	交付額
1	SNOA農園プロジェクト	シニアネットワークおだわら&あしがら(SNOA)	耕作放棄地が拡大する早川地域で、市民とみかん農家が一体となり農地を再生、湘南ゴールドなど柑橘の少量・多品種栽培を行います。多くのシニアが農作業に関わることで、苗木の植栽から成木までの世話、そして収穫の喜びを味わうと同時に、みかん栽培ノウハウを習得します。同時に一昨年から始めた周辺耕作放棄地への支援を継続します。	200,000円
2	親子を中心とした、多世代交流スペース	おだわら児童館連合	幅広く世代交流ができる居場所の開催、普及活動を行っていきます。その中で夏休みの宿題の学習支援、文化活動の機会の提供等を行います。また、町歩きを実施します。小田原市に転入してきたばかりで不慣れな方をはじめ、地元で根付く方々にとっても自分たちの暮らす町をより知るきっかけを作っていきます。	200,000円
3	第11回鉄道資料展開催	小田原鉄道歴史研究会	市民および観光客に『鉄道のまち小田原』をPRし、興味・関心をもってもらいます。 1. 定期的開催の鉄道資料展にて資料等を展示し告知します。 2. 新幹線0系光前頭オオイ(通称『団子鼻』)を活用します。 3. 鉄道模型運転会、朗読会を実施し、鉄道の歴史を解説します。 来年10月の小田原駅開業100周年に向けて、昨年からの活動を継続してまいります。	100,000円
4	小田原玉ねぎ栽培体験事業	特定非営利活動法人小田原食とみどり	小田原の特産品である玉ねぎの栽培体験をすることで、農業や地場野菜への関心を持つきっかけとなり、農産物の需要を高めるとともに子供に向けては、食育や将来の農業の担い手育成につながり農業振興の一助となります。また、本事業は耕作放棄地を活用し、有機無農薬栽培をするため環境保全ともなります。	100,000円
5	家の外にも居場所を!	アペゼ	昨年に引き続き、高齢になって慌てないための準備や、閉じこもりや要介護にならないでいつまでも元気で過ごせるように毎回テーマを決めて連続講演会を企画運営します。講演のあとは交流会で演者と参加者の親睦を深めます。本年はまた、ご家族を看取られたあとに残された方の悲しみに寄り添い、立ち直りを支援するグリーン・ケアを新たに開始します。	200,000円

<ステップアップコース プランB>(事業費の50% 上限30万円)

No.	事業名	団体名	概要	交付額
1	リハビリフェスタ2020	県西地区リハビリテーション連絡協議会	県西地域(2市8町)の地域住民を対象に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、鍼灸マッサージ師などリハビリテーション関連職種の方がイベントを開催します。協賛企業様のブース出展や様々なステージ企画、各種講演、体力測定、マッサージなど提供します。	300,000円
2	スポーツを支える	NPO法人下府中コミュニティShin2	スポーツを支えよう 芝生の上スポーツイベント 地域施設利用団体等への説明会 酒匂川河川敷サッカー場の維持管理用補植苗の提供 ポット苗づくりイベント 圃場の維持管理	300,000円

交付額合計 1,600,000円